

地域社会が一体となった福祉（市民参加型福祉）の創造にお役にしたいと考え兵庫県下の開拓的・先駆的なボランティア活動や福祉活動を応援するため平成10年9月1日に設立しました。
財団法人木口ひょうご地域振興財団は、市民参加型福祉の促進と振興をはかり、障害者など社会的に弱い立場におかれている方々にやさしく、明るく住みやすい地域社会の創造のため、兵庫県内における開拓的で先駆的なボランティア活動や福祉活動などに助成いたします。

電動義手やパソコン用特殊入力装置などの支援技術の提供をとおして、重度な障害をもっている人の自立や社会参加のお手伝いをします。
また、重度な障害をもっている人の生活自立や雇用拡大あるいは社会参加につながる活動に対しても資金助成をとおして支援します。重度な障害をもっている人も、便利な道具を活用して自らの針路に自ら舵をとって欲しいと思います。

「研修会議・情報開発センター」は、医療・福祉関連の国際会議は企業研修など多様なコンベンション、研修、会議を開催できる最新鋭の研修会議施設です。同時通訳ブース併設の大会議室、小会議室やレストランも備わっています。また、宿泊型の会議や研修に対応した宿泊施設があります。1階は車いす対応の設備を完備したバリアフリールームが15室（ツイン6室、シングル9室）あります。そのほか、福祉リハビリテーション機器体験コーナーでは、車いすバスケットボールなど様々なスポーツレクリエーションを行うことができます。

神戸花鳥園は、たくさんの花の中に鳥、魚そして人々が加わり、楽しい共存空間となっています。高齢者、障害者の方々と、子供連れファミリー、若い人たちが、何の違和感もなく自然に融合し、花満開の中でバイキングを食べ、鳥や魚に餌を与え、ゆっくりと過ごす姿には安らぎがあります。花鳥園は、車いす使用者やベビーカーを押す人をはじめ、多くの人が快適に楽しんでもらえる工夫がなされています。その工夫はどのようなところでしょうか？そんなことも考えながら、花と鳥を存分に楽しんでください！

上記団体様には、シンポジウム開催にあたり多大なるご支援をいただきました。
ここに記して謝意を表します。

実行委員会

実行委員長：三戸呂克美（全国頸髄損傷者連絡会会長）

赤尾広明（大阪頸髄損傷者連絡会会長）、池田英樹（兵庫頸髄損傷者連絡会）、大庭潤平（神戸学院大学）、大森清博（兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所）、金井謙介（日本リハビリテーション工学協会理事）、坂上正司（全国頸髄損傷者連絡会副会長）、相良二郎（神戸芸術工科大学）、桜井龍一郎（兵庫頸髄損傷者連絡会）、田村辰男（NPO 法人ライフサポートはりま）、中村俊哉（兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所）、藤田厳一（神戸学院大学）、松田靖史（川村義肢株式会社）、米田進一（兵庫頸髄損傷者連絡会）
事務局長：糟谷佐紀（神戸学院大学）、副事務局長：宮野秀樹（兵庫頸髄損傷者連絡会事務局長）